

平成 28 年度第 5 回 IODP 部会執行部会 議事録

日時:2017 年 2 月 20 日(月)14:00~17:30

場所:海洋研究開発機構 東京事務所 大会議室

出席者:

執行部:西 弘嗣(部会長・東北大学) 村山雅史(部会長補佐・高知大学)

池原 研(産業技術総合研究所) 黒柳あずみ(東北大学) 高橋嘉夫(東京大学)

中西正男(千葉大学) 針金由美子(産業技術総合研究所) 道林克禎(静岡大学)

森下知晃(金沢大学) 山田泰広(JAMSTEC) 大河内直彦(JAMSTEC)

横山祐典(東京大学大気海洋研究所)

リエゾン:小村健太郎(陸上掘削部会長・防災科学技術研究所)

オブザーバー:佐藤英章(文部科学省) 佐野貴司(科学推進専門部会・国立科学博物館)

花田晶公(CDEX/JAMSTEC) 稲垣史生(ODS/JAMSTEC)

事務局:肥田慎司 品川牧詩 高橋可江 双木真理子(JAMSTEC)

欠席者: 齋藤めぐみ(国立科学博物館)

議事次第

1. 前回会議(161117)議事録(案)確認..... 資料 1
2. IODP の動向
 - ・掘削航海動向報告 資料 2-1, 2-2
 - ・CIB 開催について
 - ・SEP 報告..... 資料 3
 - ・国際委員ローテーション 資料 4
3. J-DESC 関連
 - ・IODP・ICDP 成果報告会 資料 5-1, 5-2, 5-3, 参考
 - ・IODP・ICDP 成果と展望パンフレット..... 資料 6
 - ・JpGU 地球掘削科学セッション及び関連セッション 資料 7, 8
 - ・J-DESC 総会及びタウンホールミーティング..... 資料 8, 9
 - ・JpGU-AGU 2017 ブース展示 資料 10
 - ・次期 IODP 執行部会の体制
 - ・オマーン掘削の現状とアウトリーチについて 資料 11-1, 11-2
4. 陸上掘削部会の動向
 - ・ICDP 関連のワークショップ..... 資料 12
5. その他
 - ・ECORD サマースクール 資料 13-1, 13-2
 - ・その他
 - ・次回執行部会開催日程確認

配布資料

- | | | | |
|--------|-----------------------|---------|-----------------------------------|
| 資料 1 | 前回執行部会(161117)議事録(案) | 資料 8 | JpGU 関連行事タイムテーブル |
| 資料 2-1 | 掘削航海スケジュール | 資料 9 | 2016 タウンホールミーティング議事次第 |
| 資料 2-2 | 乗船決定・応募者リスト | 資料 10 | JpGU2017 展示会場レイアウト・仕様 |
| 資料 3 | #7 SEP 報告書 | 資料 11-1 | オマーン掘削に関する要望書 |
| 資料 4 | 国際委員ローテーション | 資料 11-2 | Letter from Oman Drilling Project |
| 資料 5-1 | 成果報告会リーフレット | 資料 12 | ICDP workshops |
| 資料 5-2 | 成果報告会進捗表 | 資料 13-1 | ECORD サマースクール 2017 リーフレット |
| 資料 5-3 | 成果報告会当日運営マニュアル(draft) | 資料 13-2 | ECORD サマースクール 2016 報告 |
| 資料 6 | 成果パンフレット初校 | 参考 | 28 年度 J-DESC 予算執行状況 |
| 資料 7 | 地球掘削科学セッション&関連セッション | | |

議事録

1. 前回会議(161117)議事録(案)確認.....資料 1
会議終了までに特段の意見は無く、議事録案は原案通り承認された。

2. IODP の動向

・掘削航海動向報告 資料 2-1, 2-2
事務局及び西部会長から資料に基づいて報告された。また、花田氏より「ちきゅう」の予定に関し補足があった。

・CIB 開催について
花田氏から報告があった。

・SEP 報告 資料 3
池原委員から資料に基づき説明が行われた。

・国際委員ローテーション 資料 4
西部会長及び事務局からの説明後、議論が行われた。

合意事項(170220-01) : 3月末を目途として SEP 後任の募集を実施する。

合意事項(170220-02) : SEP Site Survey sub-group の川村氏の就任について承認する。

3. J-DESC 関連

・IODP・ICDP 成果報告会 資料 5-1, 5-2, 5-3, 参考
事務局からの説明後、議論が行われた。

- ・執行部会メンバーは全員参加登録をすべき。
- ・遠方からの学生についての支援はどうするか？
- ・余剰経費は来年度に予定されている THM あるいは WS 支援の経費に充てるべきでは？
- ・各学会にも情報を展開する必要がある。

合意事項(170220-03) : ポスターは計 12 枚出すこととし、それぞれ委員から発表者へ調整を行う。

合意事項(170220-04) : コーヒーブレイクで十分な時間がないことから、コーヒーについて提供はしない。ただし、講演者とポスター発表者に対して水は提供する。

合意事項(170220-05) : J-DESC からは道林委員・森下委員・村山委員のほか、西部会長、小村部会長が当日の運営協力を行う。

合意事項(170220-06) : 司会者の選定・手配は JAMSTEC に任せる。

実行項目(161117-01) : 会員機関所属の遠方の学生を対象に 3/10 を締め切りとして旅費支援の募集をかけ、締め切り後に予算上限 15 万の配分等について部会長中心に選考する。

実行項目(161117-02) : 学会メーリングリストの情報を集め、告知用ひな形により周知を行う。

・IODP・ICDP 成果と展望パンフレット 資料 6
事務局からの説明後、議論が行われた。

- ・B 案はドリルサイトの場所が悪く、本来の意図と異なるように取られかねない。
- ・デザインとしては B 案の方が良い。
- ・2 月末に第 2 校が出てくる予定。

合意事項(170220-07) : A 案をベースとして B 案の地球イメージ図を入れる。また、中綴じ部の Earth in Motion と Earth Connection の配置を入れ替える。

実行項目(161117-03) : 「誘発地震」について誤解を招くような表現があり、書き換える。

実行項目(161117-04) : 第 2 校が出てきた後で改めて執行部会に確認する。

実行項目(161117-05) : その他、議論のあった修正点について事務局でデザインを修正する。

・JpGU 地球掘削科学セッション及び関連セッション 資料 7, 8

事務局からの説明後、議論が行われた。

- ・南海のセッションも入れるべき。

合意事項(170220-08) :総会は、5月23日あるいは24日として実施する。(その後、23日がJpGUの懇親会であることがわかり、24日に総会を実施予定)

実行項目(161117-06) :J-DESC HPで関連セッション(一覧表)について周知する。

・J-DESC 総会及びタウンホールミーティング 資料 8, 9
事務局からの説明後、議論が行われた。

合意事項(170220-09) :タウンホールミーティングの内容について部会長と事務局が相談し進める。

合意事項(170220-10) :タウンホールミーティングの日程は5月22日とする。

・JpGU-AGU 2017 ブース展示 資料 10
事務局からの説明後、議論が行われた。

合意事項(170220-11) :昨年同様、合同ブースとして出展する。

・次期IODP 執行部会の体制
西部会長から次回執行部会で説明を行う旨発言があった。

・オマーン掘削の現状とアウトリーチについて 資料 11-1, 11-2
山田委員からの説明後、議論が行われた。

- ・オマーン掘削は J-DESC における大きなプロジェクトとして推進していくべき案件である。
- ・プロジェクトの推進はもとより、アウトリーチも重要。

実行項目(161117-07) :道林委員が2月中にPRのためのPPT(公開可能なもの)を用意する。

4. 陸上掘削部会の動向

・ICDP 関連のワークショップ 資料 12
小村部会長より資料に基づき説明があった。

5. その他

・ECORD サマースクール 資料 13-1, 13-2
西部会長からの説明後、議論が行われた。

- ・旅費支援については現状解決策がない。
- ・一方で、学生に対する補助は必要。
- ・選択と集中が必要ではないか。

合意事項(170220-12) :学生への旅費支援について来年度予算を見ながら引き続き検討する。

・その他

次年度予算については部会長、黒柳委員、事務局で案を作成する。

・次回執行部会開催日程確認

4/17の週として事務局より日程調整を行う。